




整理番号	HT25093	分野	化学	(化学合成、感光性材料、半導体)
------	---------	----	----	------------------

神奈川大学

光で変化する材料、感光性材料に触れてみよう

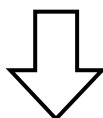
先生(代表者)	山口 和夫(やまぐち かずお) 理学部・教授			
自己紹介	1, 2 年生に有機化学、3 年生に高分子を教えています。4 年生、大学院生には研究の指導をしながら、酒の飲み方も教えています。高校生の中には分子生物学に興味を持っていましたが、化学科に進学し、生物に関連する分野を研究しています。“継続は力なり”がモットーです。 (http://professor.kanagawa-u.ac.jp/sci/chemistry/prof06.html)			
開催日時・ 主な募集対象	平成25年7月28日(日)	(対象)	中学生 高校生	(人数) 40名
集合場所・時間	神奈川大学湘南ひらつかキャンパス	(集合時間)	10:30	
開催会場 (集合場所)	神奈川大学 理学部(湘南ひらつかキャンパス) 住所: 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋 2946 アクセスマップ: http://www.kanagawa-u.ac.jp/access/shonan_hiratsuka/			
内 容				
<p>21 世紀は光の時代といわれています。環境にやさしいエネルギーだからです。その光を感じる材料-感光性材料は、コンピュータの頭脳である半導体の製造プロセスなどに使われています。この感光性材料の合成と利用法を体験してみませんか。右図は、感光性材料をコートした基板にドラえもののフォトマスクを被せて露光したものです。この体験を通じて、化学の楽しさ、素晴らしさを実感してください。</p>				
				
			ドラえものの露光像	フォトマスク
スケジュール			持 ち 物	
10:30-11:00 受付			筆記用具	
11:00-11:15 開講式(挨拶、オリエンテーション、科研費の説明)				
11:15-12:00 講義「感光性材料の歴史」			特 記 事 項 合成実験を行なうので、実験をしやすく安全な服装と履物で来てもらいます。	
12:00-13:00 昼食				
13:00-14:00 実験 1(感光性材料の合成)				
14:00-14:30 休憩・クッキータイム				
14:30-15:30 実験2(感光性材料の利用)				
15:30-16:00 修了式(アンケート記入・未来博士号授与)				
16:00 解散				

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	神奈川県 平塚研究支援課・山口朝美
住所：	〒259-1293 神奈川県平塚市土屋 2946
TEL 番号：	0463-59-4111
FAX 番号：	0463-58-9688
E-mail：	yamaga01@kanagawa-u.ac.jp
申込締切日：	平成25年7月18日(木)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
山口 和夫	H22-24	基盤研究(C)	22550114	感光性自己組織化単分子膜の高機能化と有機薄膜トランジスタ作製への応用



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。